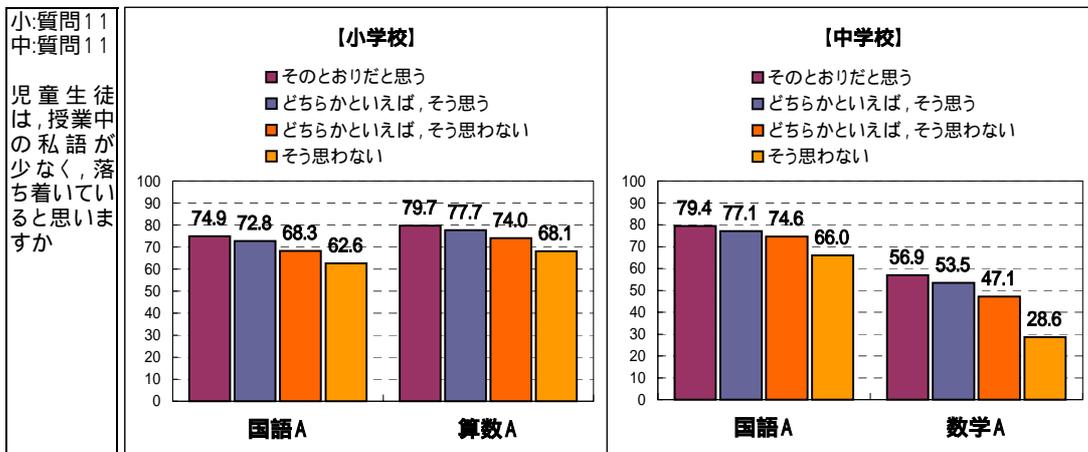


(2) 学校質問紙 × 教科の平均正答率

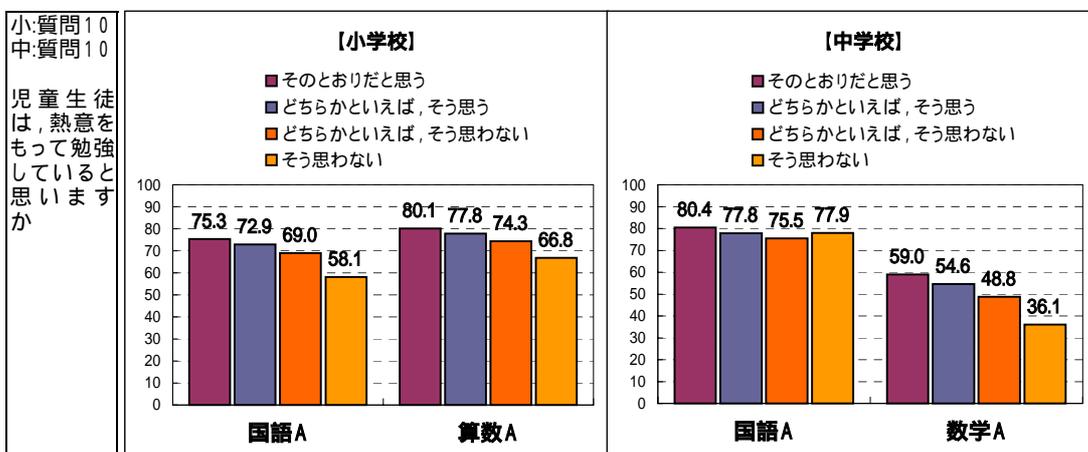
学習習慣に関すること

児童生徒が授業中の私語が少なく、落ち着いていると思っている学校の方が、平均正答率が高い傾向が見られる。



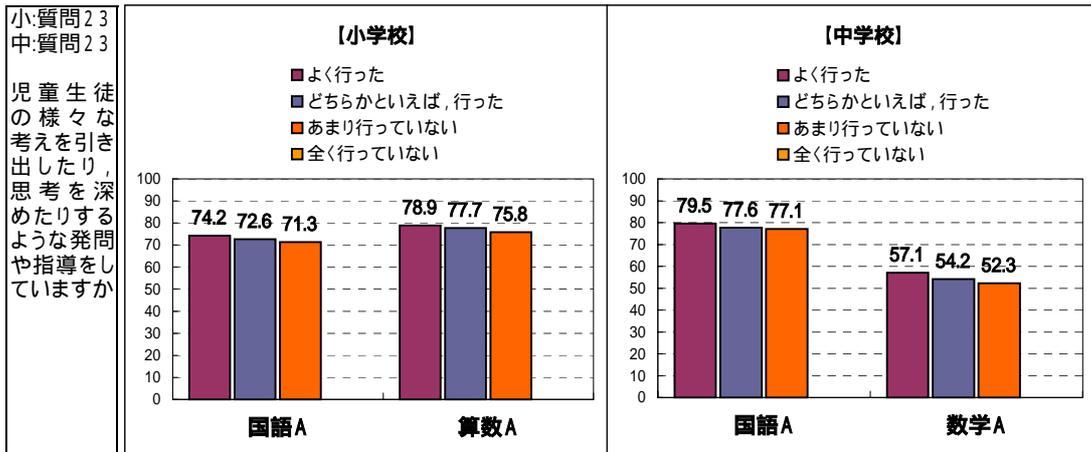
学習意欲に関すること

児童生徒は熱意をもって勉強していると思っている小学校及び、中学校の数学Aで平均正答率が高い傾向が見られる。

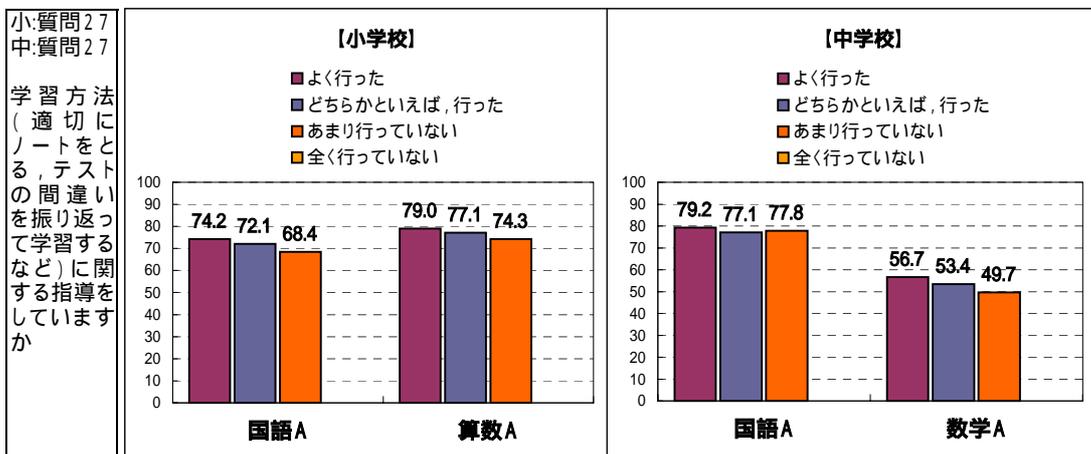


指導方法・指導体制に関すること

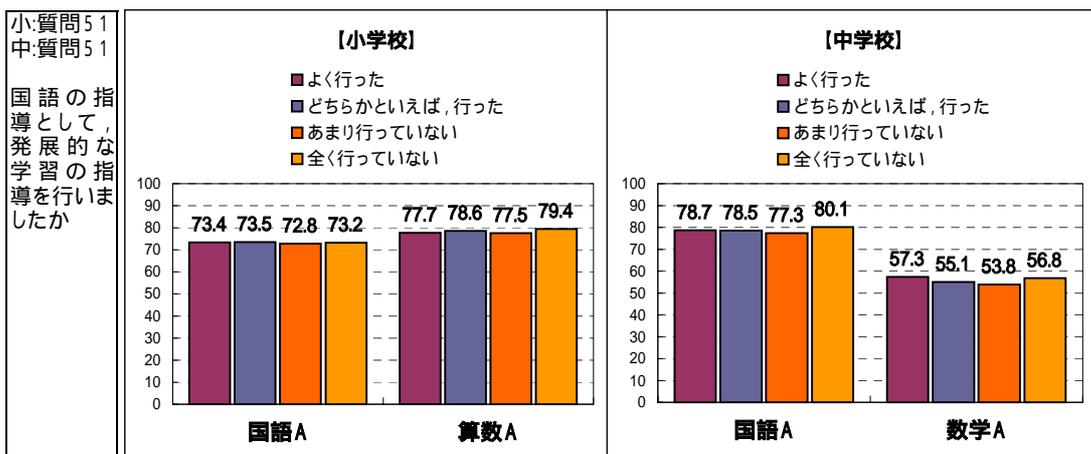
児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしている学校の方が、平均正答率が高い傾向が見られる。



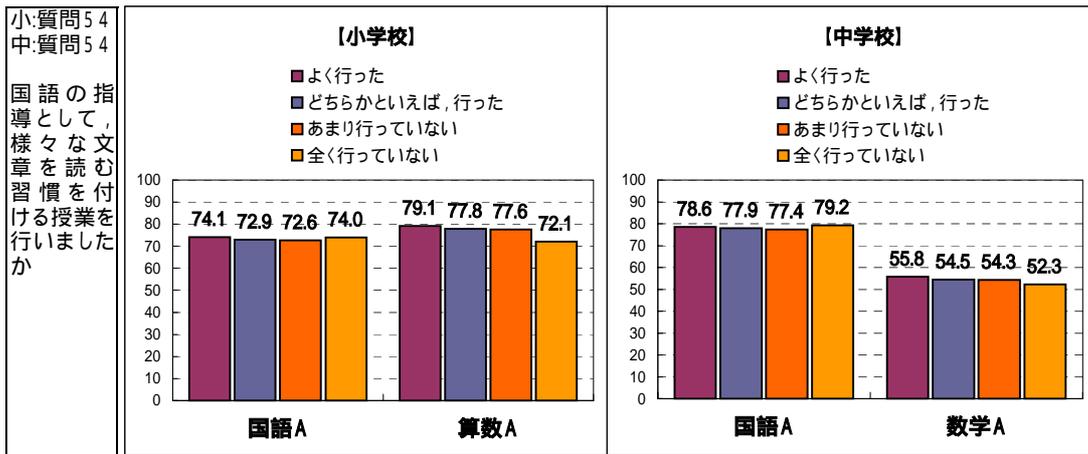
学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしている学校の方が、小学校及び、中学校の数学Aで平均正答率が高い傾向が見られる。



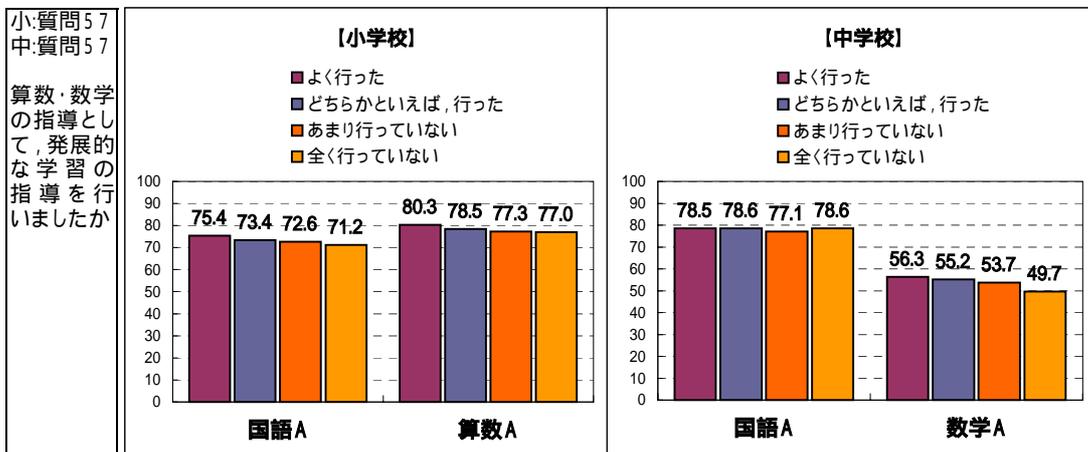
国語の指導として、発展的な学習の指導を行っている学校と行っていない学校の国語Aの平均正答率には強い関係が見られない。



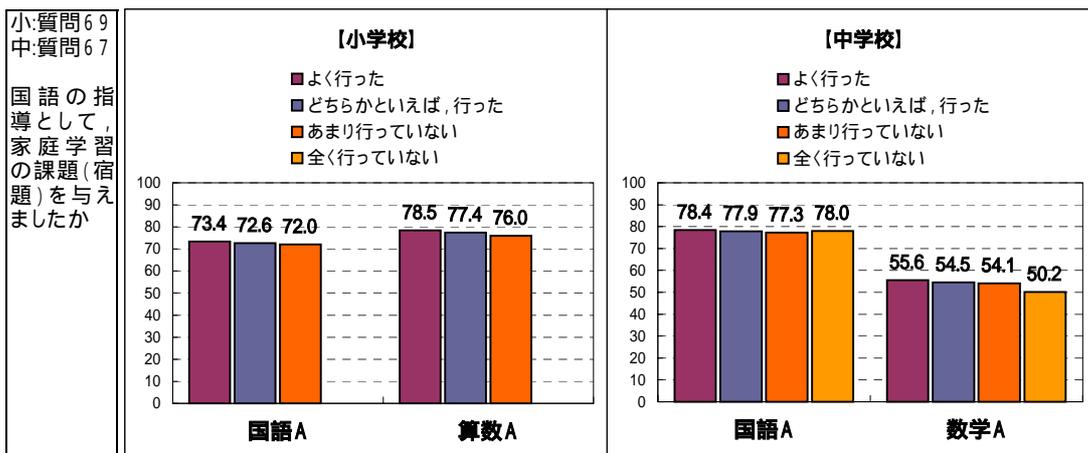
国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行っている学校の方が、算数A・数学Aの平均正答率は、小学校で高く、中学校でやや高い傾向が見られる。



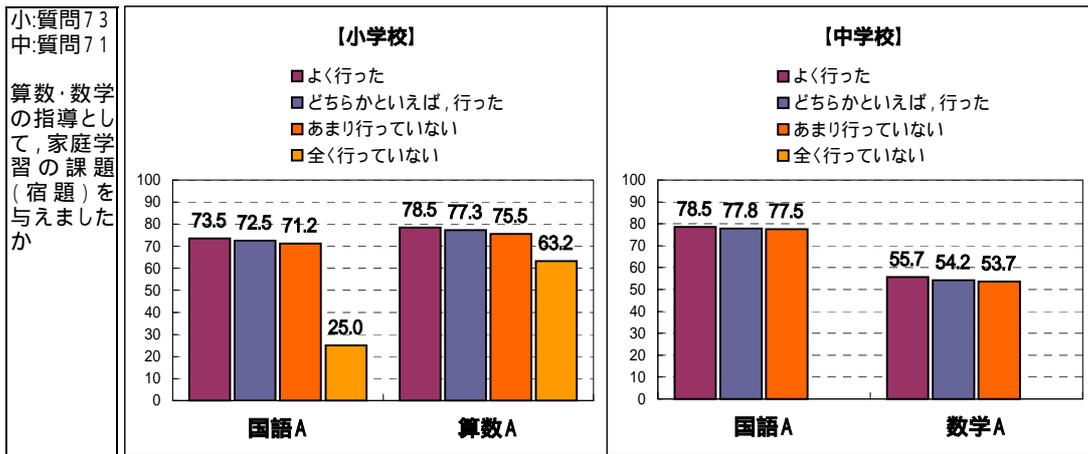
算数・数学の指導として、発展的な学習の指導を行っている学校の方が、算数A・数学Aの平均正答率は、小学校でやや高く、中学校で高い傾向が見られる。



国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えている学校の方が、小学校の国語Aでは平均正答率が高い傾向が見られ、中学校の国語Aではわずかながら高い傾向が見られる。

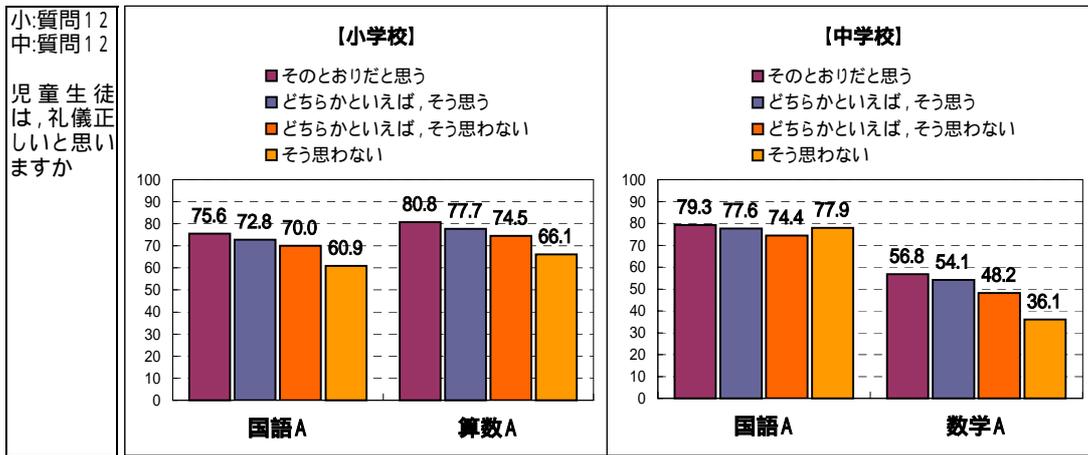


小学校では、算数の指導として家庭学習の課題(宿題)を与えている学校の方が、算数・数学Aの平均正答率が高い傾向が見られる。

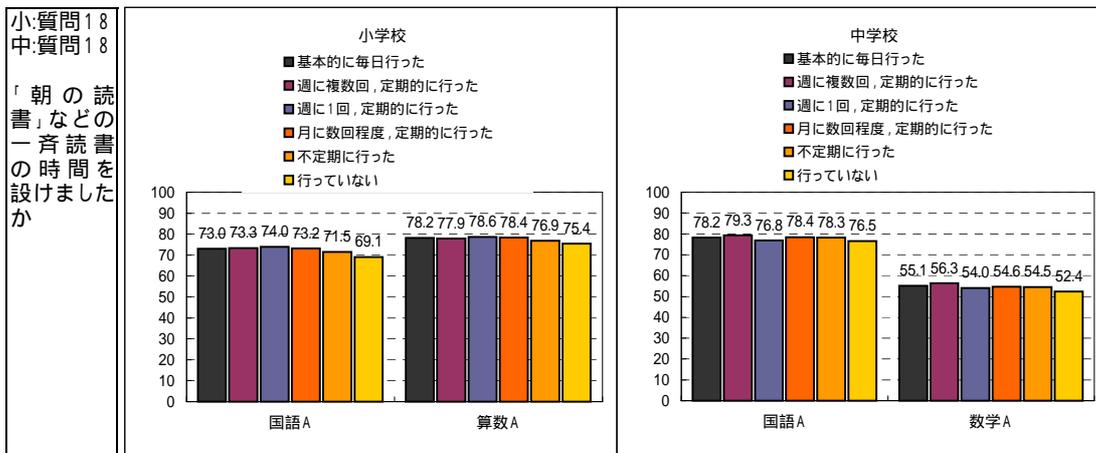


豊かな心に関すること

児童生徒は礼儀正しいと思っている小学校及び、中学校の数学Aで平均正答率が高い傾向が見られる。



「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けている学校は、設けていない学校より平均正答率が高い傾向が見られる。



教職員の取組

学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっている学校の方が、平均正答率が高い傾向が見られる。

小:質問88
中:質問86
学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっていますか

